

2017年度 大学院入学試験問題【I期】

国際日本学研究所 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目【日本語学・日本語教育学研究領域】

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を必ず明記すること。

(例 I-(1), II-(2))

I. 論述問題

次の3題のうち1題を選択して、論述しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 文化審議会国語分科会は、2016年2月に出した「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」で、手書き文字では、「令」の下の部分は「マ」でもよいことや、「天」の下の横画は上の横画より長くてもよいことなどを示した。このような指針が必要になった背景を、漢字の形やそれが問題になる場面について具体例を出しながら、分析しなさい。
- (2) 上下に関する概念メタファーの一つに「Happy is up, sad is down」がある。この概念メタファーが基盤となっている(1)日本語の表現、および(2)日本語以外の言語(留学生の場合は、自身の母語)の表現を複数取り上げ、比較、分析しなさい。
- (3) 「花束」と「花の束」のように、複合語と名詞句は形式が似通っていることから、日本語学習者は意味も同じであると誤解することがある。そこで、「花束」と「花の束」の意味の違いを説明しなさい。さらに、このように形式的に類似性のある複合語と名詞句のペアの例を挙げて、その意味の違いを分析しなさい。

II. 解説問題

次の(1)～(6)の中から2つを選んで、解説しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 係り結び
- (2) 方言の東西対立
- (3) 連語と慣用句
- (4) 呼称としての親族名称
- (5) 発話行為
- (6) 意味の漂白化